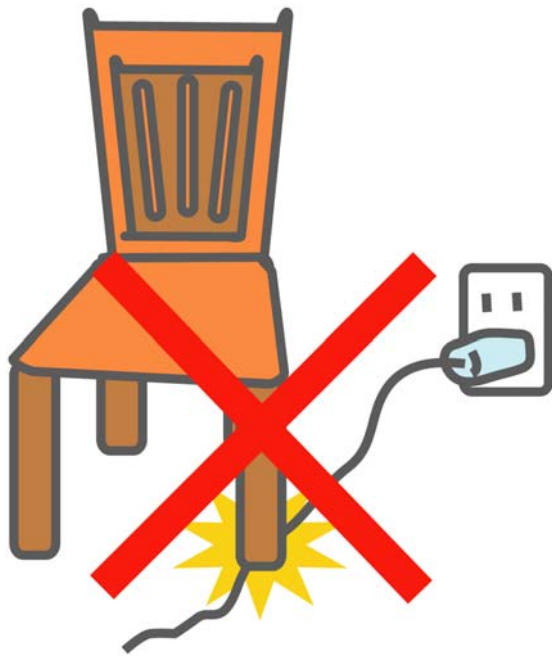


電気は安全？意外に多い電気火災

東京消防庁管内では、電気や電気製品にかかわる火災は毎年なんと、1,000件前後も発生しています。「製品の欠陥」による火災もありますが、そのほとんどが使用する人の「取り扱い不適」、「維持管理不適」および「長年の使用による性能の劣化」などとなっています。

◎ コードやプラグの場合は・・・

- ・ コードが家具などの下敷きや、無理な押し付けなどで傷つかないように注意する。。
- ・ コードを束ねたり、ねじれたままの状態で使用しないこと。
- ・ プラグを抜く際には、コード部分を引っ張らず、プラグ本体を持って抜くこと。
- ・ コードの許容電流以下で使用すること。(たこ足配線は危険です。)



コードの押し付けは危険！半断線により出火



トラッキング火災！

◎ トラッキング現象という言葉をご存知ですか？

長年コンセントに差し込まれたプラグ部分に湿気やほこりなどが付着すると、本来絶縁されている両差刃間を電気が流れコンセント付近から出火することがあります。プラグを抜いて掃除しましょう。

本当に古いものは思い切って捨てることも必要です。

電気製品には耐用年数があり、永久に使えるわけではありません。

これから大掃除の季節になります。家庭の電気も総点検しましょう。